

平成 26 年度 第 2 回学校評議員会の実施報告書

ホームページの掲載	
予定	1 月 3 0 日掲載予定

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校 長 板倉 寿明
学校住所 岐阜市西秋沢 2-262-1 電話 058-239-9712

1 会議の名称 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 学校評議員会

2 会議の構成 委 員 今井 正聡 株式会社サン・シング東海 常務取締役
岩越 康真
縄田 栄子 本巣市本巣民生児童委員
早川 隆雄 西秋沢地区自治会長
水野 範子 本巣市障がい者就労支援センター所長

(委員名は五十音順)

学校側	井後さとみ	P T A 会長	鹿嶋 成美	小学部主事
	板倉 寿明	校長	中村 真章	中学部主事
	丸山 忠	事務長	小野島弥生	高等部主事
	渡辺 正	教頭	駒田 武彦	教務主任

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：平成 27 年 1 月 16 日（金）午前 9 時 30 分～11 時 15 分
場 所：岐阜本巣特別支援学校校長室
出席者： 委員 4 人、学校側 8 人

(井後さとみ P T A 会長の代わりに堀友枝 P T A 副会長が出席)

5 会議の概要

(1) 校長挨拶

- ・ 前回の評議員会から学校では高等部の体育大会、修学旅行等の行事があったり、台風での臨時休業があったりしましたが、特に大きなことはなくきています。12 月には雪のためスクールバスが出せないときもありましたが、学校としては休校とせず送迎できる家庭については受け入れをいたしました。安全性を重視する一方で学校を開くことも大事であるのでその境が難しいところです。
- ・ 昨年 11 月に全国学校体育研究大会が岐阜県でありました。県内の幼、小、中、高、特の代表がでて、特別支援学校からは本校が会場校となりました。当日はとてもよい授業が発表でき、全国に素晴らしい発信ができたと思います。周りからもよい評価を得ることができました。これからは体育だけでなく他の授業においてもよいものができるように積み上げていきたいです。
- ・ 本日は小学部の様子を見学していただきますが、この時期はできないことができるようになることが多く、このことは保護者にとっては力強いことです。ですからその期待に応えるように成果を上げていきたいと思っています。授業を観ていただいてから忌憚のないご意見をいただきたいです。

(2) 授業参観 (略)

(3) 全体会議 (学校関係者評価委員会を含む)

高等部作業製品の価格について (高等部主事より説明)

- ・新規1製品の価格(案)、販売方法変更1製品(案)、販売価格変更1製品(案)を実際の製品を見ていただきながら、検討をお願いした。

意見1 名刺入れは名刺が落ちないように工夫されているが出しにくくなっているのではないかな。

学校側 縦型にするなど今後工夫していきたい。

意見2 一筆箋はセット販売だけか。封筒だけの販売はしていないのかな。

学校側 大量生産ができず、数に限りがあるので封筒単品での販売はしていないが、今後は考えていきたい。

意見3 もっと価格を高くしてもよいのではないかな。

学校側 手間がかかっている製品ではあるが、買ってもらえないと困るのでこの値段にした。

学校側 価格は、これでお認めいただけるかな。

※全員意義なく、価格について妥当であると認めていただいた。

学校評価・自己評価について

1 学校評価アンケートの結果分析 (教頭より資料をもとに説明)

(1) 保護者対象アンケート結果

○学校評価アンケート結果 (保護者)」による分析

肯定的な回答の比率が80%以上の項目数が昨年度と比較して高等部では増加したが、小・中学部では減少した。否定的な回答の比率が20%以上の項目数については昨年度どの学部もなかったが、今年度は小・中学部であった。この結果を真摯に受け止め、福祉行政と連携を図ったり、進路開拓や進路指導の取り組み方をさらに工夫したりするなどして、来年度は少しでもよい回答が得られるように努力していかねばならない。

また「わからない」という回答が多かった項目もあり、今後とも学校活動の取り組み等を保護者に明確に伝えるとともに、地域の方々との連携を更に深めていく必要がある。

○学校評価アンケート結果 昨年度との比較による分析

「体罰の防止」「いじめ差別への対応」について肯定的な回答が10ポイント以上増加した。これは生活支援部を中心とした人権教育を進めてきた取組をある程度認めていただいた結果といえよう。

(2) 学校評議員対象アンケート結果

概ね肯定的な評価をいただいているが、学校内での様子や学校と保護者との連携については「わからない」の回答が多かった。学校の様子を外部へうまく発信する必要がある。

(3) 生徒対象アンケート結果

肯定的な回答である項目が増加している一方、肯定的な回答が減った項目もあった。生徒からの視点も大切にして今後の教育活動を進める必要がある。

2 各分掌の自己評価について（教務主任、各部主事より資料をもとに説明：項目のみ記載）

- (1) 教務部 (2) 学習支援部 (3) 支援センター部 (4) 研修部 (5) 健康支援部
(6) 防災安全部 (7) 生活支援部 (8) 進路支援部 (9) 渉外部

ご提言等

意見1 体罰やいじめは本来零のはずだが、いろいろな受け取り方があるので零にはならないだろう。この結果は零に近い数字と受け取ってよいか。

学校側 体罰についてはない。いじめについては、直接その生徒から事情を聴き、その後もお互いの理解を深められるように支援していく必要がある。

意見2 生徒はどのようなことを体罰と受け止めるのか。

学校側 怒られたりしたことを体罰と受け止めたりする生徒がいる。生徒の状態をよく把握した上で、生徒によく理解できるような方法や言葉を用いて指導をしなければならない。

意見3 先生の姿を見て工夫と根気が感じられた。一所懸命になりすぎて熱い思いが強い言葉になり、体罰と受け取られることがあるのではないか。また自立に向けては集団生活ができることや生活習慣が身につけていることが大切であるので、学校の取組は非常によいと思う。

意見4 以前、作業所ではその子達に合わせて仕事を選ぶことができたが、今は選ぶことができず来た仕事にその子達を合わせていくしかない。そのためいろいろな作業が丁寧にできるようになっていくことが必要となっている。製品の価格もできるだけ高くしたいという気持ちもあるが、一番は多くの人に手にとっていただき買ってもらいたいということなので値段の設定も難しい。

学校側 (資料をもとに高等部主事が今年度の進路内定状況を説明)

意見5 休校時に警報が早く解除したときの対応が、保護者の要望通り児童生徒の受け入れをしてもらえた。保護者の要望にすぐに対応してもらえてありがたかった。

意見6 小学部の授業を見せていただき、どこのクラスでも習字が展示してあってとてもよいと思ったが、カーテンで仕切っている教室もあったが暗くはないか。

学校側 カーテンが開いていると、外が気になる児童もいるので、そのためにカーテンで見えなくしている。

意見7 この学校は暖かみがあり、職員がポジティブでとてもよい校風がはぐくまれていると思う。また学校全体の「みえる化」が進んでおりとてもよい。これは職員の意識向上にもつながるので今後ももっと進めて欲しい。自己評価も課題がしっかりみえていてとてもよいと思った。

意見8 ボランティアとして花いっぱい運動やグラウンドの草取り、学校祭での食品販売等に参加させてもらった。自分でボランティア保険には入っているが学校でも入る必要があるか。ボランティアには来年も参加したいと考えている。

学校側 ボランティア保険は1つ入っていれば十分です。ボランティアは来年もよろしく願います。

意見9 学校の周りの松について、台風の時など危険であるし枯れている木もあるので、伐採してもらえないか。そして代わりにあじさい等を植えてはどうか

学校側 松の木は今年度中にすべて伐採し、杉も枯れているものは伐採する計画です。

8 校長挨拶

本日はご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。学校の中にいると校内の視点でしかみていないので、評議員の方からのご意見は非常に貴重です。今後ともよろしくお願いいたします。